

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 愛知県立安城東高等学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒446-0011

愛知県安城市北山崎町大土塚10

E-mail anjohigashi-ko@pref.aichi.lg.jp

Website http://www.anjohigashi-h.aichi-c.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 564名 女子 502名 合計 1066名

幼児・児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、開校5年目よりオーストラリアの姉妹校へ訪豪団として生徒やPTA会員を派遣しており、今年度は第36次訪豪団を派遣した。また、隔年で姉妹校からの生徒・教員を受け入れたり、毎年AFS留学生の受け入れや国際理解教育講演会(ユネスコスクール加盟後はユネスコ・国際理解教育講演会)を実施するなど、学校全体で国際理解教育の推進を目標に掲げている。また、学校の美化や緑化活動を推進し、教育環境の整備に努めるとともにボランティアの精神を育成している。具体的な活動内容は以下の通り。

1. 国際交流・国際理解教育に係わる活動

① 第36次海外派遣(訪豪団)

日 程：7月30日(日)～8月8日(火) 9泊10日

参加者：PTA2名、職員3名、生徒10名

内 容：オーストラリア・ヴィクトリア州・ホブソンズベイ市にある姉妹校ベイサイドP-12カレッジとの交流(学校訪問、ホームステイ、メルボルン市内見学等)、シドニー市内・シンガポール市内見学

② 留学生受け入れ

ア AFS長期留学生受け入れ（4月6日（木）～1月15日（月））

ハンガリー国籍女子1名、第2学年に所属

イ 留学生を囲む会（12月9日（土））

AFS長期留学生3名（近隣他校の2名含む）、生徒約50名の参加
留学生のプレゼンテーション、ゲーム・茶話会など

③ 授業

地歴・公民科

世界史A（第1学年）：世界地図の理解（1学期課題）

新聞記事レポート（夏季・冬季休業課題）

政治・経済（第2学年）：「現代の国際政治」（1学期授業）

英語科

英語表現I（第1学年授業・通年）

ALT (Assistant Language teacher) を活用した言語活動を取り入れた
少人数授業によりコミュニケーション能力の育成

2. 環境学習に関わる取り組み

① 草取り大会（9月11日（月））

全校生徒による校舎・グラウンド周辺の環境美化

② クリーンフェスティバル（11月4日（土））

生徒・教員・PTA 約500名参加

周辺の道路清掃、校内の環境美化

③ ユネスコ・国際理解教育講演会（11月16日（木））

大阪商業大学 経済学部准教授 原田禎夫 先生

演題「新しい地球環境問題～海のプラスチック汚染って何だ？」

④ ビオトープ作成

クロメダカなどの身近な淡水魚や水生植物の育成・観察

身近な環境に関する学習、絶滅危惧種の保全

④ 花壇・プランターによる花の栽培（通年）

外庭清掃当番の生徒が担当

⑤ 授業

地歴・公民科

政治・経済：「環境保全」（第2学年2学期授業）

理科

生物基礎：「生態系とその保全」（第1学年3学期授業）

生物：「生態系と生物多様性」（第3学年2学期授業・理系選択者）

グループ学習による探究と発表

物理基礎、物理：エネルギー及び環境問題（第1学年、第2学年理系物理
選択者各分野において通年）

3. ボランティアなどの取り組み

① 生徒会

ベルマーク運動（通年）

赤い羽根募金（11月）

- ② 安城七夕まつり ゴミかごボランティア（8月4日（金））
生徒31名、PTA10名、職員2名参加
- ③ ユネスコクラブの活動
池（ビオトープ）の清掃活動（通年）
手話修得に向けての活動（通年）
南吉ジャンボカルタの運営ボランティア（4・5・12月）
東高祭（学校祭）でのジャンボカルタ大会の開催（6月）
安城市七夕まつりゴミかごボランティア（8月）
アートフェスタ参加（8月）
エコキャップ回収（通年）

第36次海外派遣（訪豪団）



留学生を囲む会



安城七夕まつりゴミかごボランティア



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他(ボランティア)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

特になし (授業では教科書を用いてその内容を発展的に取り扱うようにしている)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ユネスコスクール加盟時に作成した ESD カレンダーに従い指導している。

・国際交流・国際理解学習については国際理解と英語コミュニケーション能力育成をねらいとし、訪豪団派遣及び訪日団の受け入れを核として、1年間の AFS 留学生の受け入れやユネスコ・国際理解教育講演会を実施し、また、世界史や英語の授業において国際社会理解・国際的問題理解や異文化理解が深まるようにしている。

・環境学習についてはビオトープでの生物飼育・観察や花壇・プランターでの花の栽培を通じた環境問題への意識喚起、また、全校生徒での「草取り大会」など環境美化意識の向上を目指している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

校内分掌としてユネスコ・国際教育部を設置して国際理解教育や環境問題への取り組みを向上させられるよう努めている。また、本校 PTA と連携してボランティアへの積極的参加を呼びかけ、平成 28 年度と平成 29 年度には安城市の七夕まつりにおいてゴミかごボランティアとして多くの生徒・PTA の参加があった。さらに、ユネスコクラブを平成 28 年度に新設し、ビオトープの管理などによる環境問題への取り組みやボランティアへの参加などを行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

内部評価としては、ユネスコ・国際教育部での学校評価シートのと分掌職員の自己評価シートの作成などで行っている。成果については訪豪団などの国際交流活動、ユネスコ・国際理解教育講演会、ボランティア活動を確実に行うことができたことが上げられる。課題としてはユネスコスクール加盟後の生徒の意識改革がまだ不足していると感じられることなどであり、生徒への広報活動の充実が今後さらに必要である。

外部評価としては学校評議委員による評価をいただいているが、ユネスコスクールに関しての提言等はなかった。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

本校ホームページによる活動内容報告や広報誌(校内向け及び校外向け)等により発信している。ユネスコスクール加盟後の年数が浅いのでその効果として考えられるかどうかの確証はないが、海外派遣(訪豪団)やボランティアに関心をもち参加を希望する生徒が増えているように感じる。情報発信による成果であるかどうかは今後アンケートなどの実施による検証が必要と思われる。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

- ・ユネスコスクール全国大会(12月2日(土)) 教員1名参加
- ・愛知県ユネスコスクール指導者研修会(12月15日(金)) 教員1名参加
- ・ユネスコクラブの活動
 - 南吉ジャンボカルタボランティア参加(南吉の下宿)(4/29(土)) 生徒3名・教員2名参加
 - 愛知県高等学校文化連盟ボランティア専門部スキルアップ講座(7/22(土)) 教員1名参加
 - 安城特別支援学校PTA夏まつりボランティア参加(7/22(土)) 生徒4名・教員1名参加
 - 南吉ジャンボカルタボランティア参加(アンフォーレ)(7/29(土)) 生徒4名・教員1名参加
 - 安城七夕祭りゴミ拾いボランティア(8/5(土)) 生徒4名・教員1名参加
 - 愛知県高等学校総合文化祭アートフェスタ(ポスター発表)(8/19(土)) 20(日)
生徒4名・教員1名参加
 - 愛知県ユネスコスクール交流会(10/29(日)) 教員1名参加

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

現在は⑥での情報交換等のみを行っている。今後は交流を広げ、新しいことに取り組んでいくことも考えなければならないが、進学校としての本校の現状を考えると難しい面もある。

- ⑧ ユネスコス쿨の活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

ユネスコス쿨加盟後において加盟前と比較して新たな活動を実施していることは少ないため（記述した活動の多くは加盟前から実施していたものです）、特筆すべきポジティブな変化は特に感じられない。ただし、⑤で記述したように今後の検証が必要ではあるが、国際交流・国際理解やボランティアに関する意識は以前に比べて高くなっているように感じる。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

本校は平成 30 年度より、普通科に国際理解コースが新設される。そのため、教育課程の一部はこのコースのためのものとなり、また海外研修を増やす（シンガポールでの研修（語学研修中心））など、国際理解教育のさらなる充実が図られる予定である。今年度まで実施してきた活動の充実を図るとともに、このコースを希望する生徒が本校に入学することにより、国際交流や国際理解など他の生徒にも相乗効果を引き出すように指導していきたい。